

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、腎臓小児科では、東京都立小児総合医療センター腎臓・リウマチ膠原病科と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 本邦小児慢性腹膜透析療法の実態把握のための調査研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京都立小児総合医療センター 腎臓・リウマチ膠原病科 幡谷浩史

本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学 腎臓小児科 三浦健一郎

電話：03-3353-1111（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

1981年以降2032年3月31日までに慢性腹膜透析療法を受けている透析導入時が16歳未満の患者さん

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：患者背景 ①生年月・性別、②基礎疾患（腎臓および症候群など）、併存症、腹膜透析療法開始日、腹膜透析療法以外の血液浄化療法治療歴（移植を含む）、腹膜透析の治療方法とその変更・理由、腹膜透析カテーテルの種類と使用期間、閉塞、透析液種類、透析システム、腹膜透析関連感染症、合併症、身長・体重の変化、成長ホルモン療法の有無、身長、体重、Hb、Hct、RBC、網状赤血球、Alb、CRP、Fe、TIBC、フェリチン、iPTH、葉酸、VitB12、総カルニチン、遊離カルニチン、輸血歴、鉄剤治療の有無・薬剤の種類と投与量、赤血球造血刺激因子製剤治療の有無、開始日、種類と投与量・頻度、HIF-PH 阻害薬治療の有無・薬剤の種類と投与量、免疫抑制薬治療の有無・種類、治療で困っていること

[利用・提供の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

小児慢性腹膜透析療法の実態の解明を目的とした共同研究実施

[主な共同研究機関及び研究責任者]

東京女子医科大学腎臓小児科 三浦健一郎 など

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究機関長の許可日より 2032 年 3 月までの間（予定）

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ☒電子的配信 □その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学腎臓小児科 教授 三浦健一郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 東京女子医科大学腎臓小児科 講師 白井陽子

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 清水治